



大槌町での活動は最後でした ～バスボランティア～



9月2日に通算178回目のバスボランティアを行いました。

大槌町の「菜の花プロジェクト」で菜の花畑の整地と種まきを行いました。今回はコープデリ連合会の役職員14名を含む33名が参加し、来春の開花を願いながら種をまきました。

「菜の花プロジェクト」は、多くの犠牲者が出た大槌町で、鎮魂を願い、春一番に咲く菜の花を河川敷に咲かせようという取り組みです。



被災地支援活動が4000回目を迎えました



みやぎ生協ボランティアセンターで、2011年5月から続けてきたさまざまな被災者支援活動。累計4000回目となったのは、2011年12月に活動をスタートした石巻市三反走仮設住宅での9月のふれあい喫茶でした。月1回、仙台市や富谷市在住のボランティアも参加して継続してきましたが、住民のみなさんの転居に伴って、この日が最終回となりお別れ会を開催しました。既に転居された方も転居先から参加してくれました。

参加者からは、「楽しかったよ」「さみしいよね。あとは会えないの?」「今までありがとう」などの声が寄せられました。帰りにはボランティア全員で、転居先である二子団地に立ち寄り、寄り添ってきた方々の新生活スタートを喜びました。ボランティアにとっても、7年間のふれあいは一生の宝物になりました。

みやぎ生協では、今後も被災された方々に寄り添う活動に継続して取り組んでいきます。



三反走仮設住宅の方々の主な転居先となる二子団地の様子



「とうほくてしごとカタログ Fucco」 vol. 3 を発行しました

「とうほくてしごとカタログ Fucco」 Vol.3 を発行しました。

カタログでは商品の完売を心配せずに販売に取り組める「委託販売」の流れをわかりやすく記載しています。また、カタログの取り組みを紹介するパネルの貸し出しも行っています。カタログは追加分も費用負担なしでお送りできます。

リーダー層の皆様への配布や様々なイベントでの配布など、多くの皆様への配布に、ご協力をお願いします。



カタログの取り組みを紹介した A2 サイズのパネル



コープこうべ総代会で、委託販売にご協力いただきました。



ふくしま「浪江町物語伝え隊」の紙芝居を上演 2018.8.28

震災直後双葉郡浪江町で被災され、現在福島市内にお住まいの「浪江町物語つたえ隊」の松田小百合さんにお越しいただき、原発事故後の浪江町の人々の様子を紙芝居にした「見えない雲の下で」を上演していただきました。

松田さんは昨年から県外の生協や北九州北部豪雨の被災地にも「浪江町物語つたえ隊」として訪問されています。なかなか福島地域の中では上演する機会がありませんでしたが、今回ようやく松田さんの紙芝居を見ることができました。



原発事故後に何も知らされずにバスに寄せられ不安なまま避難した様子や、家族と離ればなれになっても民生委員の方が地域の方の不安や悩み相談に奮闘されている様子などをお聞きしました。

参加者からは「津波だけではなく原発事故が原因でみんなが一緒に暮らせないのは本当につらいと思う」「これからも多くの方へ紙芝居を通して当時の様子を伝え続けて欲しい」という感想をいただきました。



「ふくしまの現状を知ろう！！農産・水産について」学習しました

コープふくしまでは地域の中で更に豊かに暮らして行く為の「学び」「体験」の場を作り参加者同士の交流することを目的として3回シリーズでコープカレッジを行っています。

今回（9月1日）は「震災から7年 今、放射能は」と題し野中専務より震災直後から現在の放射線量、東京電力福島第1原発内のトリチウム水の貯蔵についてわかりやすく話して頂きました。

参加者からは「7年たった今でも、恐れるのは放射能への関心が薄れる事であり、学習することは意義のあると思う」「デマに惑わされない事が大切なのではないか」等の感想がありました。次回は、「福島県の農産・水産の現状について」あだたら産直センターや福島県漁業協同組合の方に講師をお願いし学習する予定です。

コープカレッジIN二本松 第13期 主催：コープふくしま

ふくしまの現状を知ろう！！農産・水産について

コープカレッジIN二本松は、地域の中で更に豊かに暮らして行く為の「学び」「体験」の場を通して参加者同士の交流を大切にすることを目的としています。
今回は「福島県」をテーマにした講習や実習を行います。
お気軽にご参加ください。お待ちしております。

生徒募集中

- 9月12日（水）午前10時～12時
*震災から7年・今、放射能は...
講師/野中 俊吉（コープふくしま専務理事）
- 10月10日（水）午前10時～12時
*ふくしまの農産の現状を訪問しよう!!
講師/あだたら産直センター様 他。
- 11月15日（木）午前10時～12時
*ふくしまの水産の現状と習熟な調理
講師/福島県漁業協同組合連合会 様。

●会場：コープマートあだたら組合員ホール（1回目と2回目）
：二本松市福祉センター 調理実習室。



コヨット！保養企画（大流しそうめん祭り）のご報告。

開催日 2018/7/7（土）-8（日） 保養先 リゾート・インぼなり

大流しそうめん祭りのために、南からウラコープ、コープえひめ、コープかがわ、おかやまコープ、コープこうべ、ならコープ、富山県生協、パルシステム茨城、みやぎ生協の9生協から10種類のご当地自慢のそうめんを送っていただきました。こども遊び塾で、自分で竹を削って箸を作り、その箸でそうめんを食べました。

二日目予定の流しそうめんは、天気予報によると大雨の予定で、急遽流しそうめんのやぐらにビニールシートをかぶせましたが、晴れ男と晴れ女の登場により、晴れて暑い日になりました。プラス思考に考えれば、暑さ対策にもなりました。

参加家族数14家族42名と大阪いずみ生協の家族5家族19名の総勢61名で大流しそうめん祭りを開催する事が出来ました。毎回、この企画を待っている家族も多い企画の一つです。

初日は、大阪いずみ生協さんの企画による本場のたこ焼き体験もあり、参加した親子が大阪の子ども達と意気投合し盛り上がりしました。



子ども達は、森での遊びも楽しみ、お母さん達はハンドオイルマッサージでリフレッシュをして楽しみました。

初日に意気投合したお陰で、流しそうめんの食べる量が凄すぎでした。昨年の倍のそうめんを茹でましたが完食。スタッフ用に準備していたおにぎりまでペロリ。凄い食べっぷりに笑いが止まりませんでした。

参加者は、初めて食べる全国のそうめんを堪能しました。ご協力くださった生協の皆様へ感謝申し上げます。来年も開催予定です。ご協力をお願いします。



発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

末永、上田